

京都縦貫自動車道、新名神高速道路、 鳥取豊岡宮津自動車道の早期整備について

【担当省庁】国土交通省

太平洋側に一軸・一極集中した脆弱な国土構造を是正するとともに、災害に強く、国際競争力のある広域的な地域経済圏を構築するため、高速道路のミッシングリンクの解消が必要です。

このため、中部日本と西日本を結節する京都において、下記のとおり高速道路網を整備する必要があるため、次のとおり要望します。

国土交通省の概算要求

全国ミッシングリンクの整備（3,731億円）

地域経済の強化による地域の自立の支援や観光地へのアクセス・観光周遊ルートを形成するとともに、災害に強い広域ネットワークを構築するため、主要都市間等を連絡する高規格幹線道路等の整備を推進。特に、計画的な整備のため事業進捗を図る必要のある事業を強力に推進。

京都府からの要望

1 「京都縦貫自動車道」を平成26年度までに完成

- ① 日本海国土軸と太平洋国土軸を連絡し、国土の防災力を向上。
- ② 完成には、平成24年度の事業費を約300億円（H23比約2.2倍）と大幅に増額することが必要。

2 「新名神高速道路」で着工を見合わせている2区間を早急に着工

※名神高速道路は、

- ・ 第二京阪道路全線開通後も、恒常的に渋滞が発生。
- ・ 開通後48年を経過し老朽化が顕著。また、多数の活断層上を通過。

- ① 6年前に国土交通大臣が着工を見合わせて以来、放置されたままになっている。
- ② 措置済みの6,800億円の財源を活用し、ただちに着工されたい。
- ③ このままでは、5年後、高槻～神戸の開通により、京都で大渋滞し、東西の交通が閉塞することが確実。
- ④ 奈良から神戸・名古屋への利便性にも大きな支障。

3 「鳥取豊岡宮津自動車道」を直轄国道（指定区間）として整備

- ① 「全国的な自動車交通網を構成する道路」であり、指定区間にすべき。（全国で当路線だけが指定区間から漏れている。）
- ② 豊岡 JCT～大宮森本 IC（41 km）は、1,000 億円を超える巨大事業であり、府県が完成させることは困難。

路 線 名		要 望 内 容	
高規格幹線 道路	京都縦貫自動車道	京都第二外環状道 路	大枝 IC～大山崎 JCT の事業促進 (平成 24 年度完成)
		丹波綾部道路	京丹波わち IC～丹波 IC の事業促進 (平成 26 年度完成)
	新名神高速道路	城陽・八幡間	事業促進 (平成 28 年度完成)
		大津・城陽間 八幡・高槻間	早期着工
地域高規格 道路	鳥取豊岡宮津自動 車道	野田川大宮道路 京丹後・鳥取間	平成 28 年度完成 直轄事業化による早期整備